

市民活動のための助成金情報 2018年 4月号



毎月様々な助成金情報をピックアップしてお届けしております。

各助成金情報の詳細（資料請求・申請方法等）については、

それぞれのお問い合わせ先にご確認頂くか、いちのせき市民活動センターにご相談ください。

またこのほかにもセンターのホームページや情報コーナーに助成金情報がございます。

どうぞご利用ください。

自然環境保全・自然とのふれあい活動

for

個人

市民活動
団体

NEW

「2018年度 FGF助成」

（公益信託富士フィルム・グリーンファンド）

身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っている人々に対し助成を行います。「身近な自然」とは地域の里地や緑地、学校の樹林等を最小限のスケールとし、「自然とのふれあい」とは、自然環境保全、自然環境教育等につながるものをさします。

対象：営利を目的としない活動で、活動フィールドの基盤がしっかりしており、活動の実績がある団体・個人（ある程度実績があり、発展的な活動を行うためであれば対象）。

金額：助成総額850万（4件程度/1件あたりの上限なし）※助成金を2年間に渡って利用可

締切：平成30年5月7日（月）消印有効（平成30年8月中旬発表）

電話：03-6659-6310

詳細はこちらから→



※直接事業費
※機材費・材料費は
申請内容による

緑化や自然体験などの環境学習活動

for

幼保園
小学校

市民活動
団体

NEW

「子供たちの環境学習活動に対する助成事業」

（公益財団法人高原環境財団）

緑化や自然体験などの環境学習活動の実践を通じて、自然環境の保全と改善について、地域の子供たちの意識向上を図ることを目的とし、日本国内の都市部またはその周辺地域に居住する子供たち（小学生以下）の環境学習活動に対し、助成します。

対象：保育園、幼稚園、小学校およびNPO法人等の地域活動団体が行う上記活動。活動参加者が都市部またはその周辺地域居住者であれば、活動場所は都市部以外が含まれていてもOK。

金額：1件あたり上限50万円（総額予算500万円）

締切：平成30年5月11日（金）必着

電話：03-3449-8684

詳細はこちらから→



直接必要経費

子どもたちが参加するユニークな自然体験活動

for

小・中学校

市民活動
団体

NEW

「第17回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

（公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団）

子どもたちが参加する自然の中での体験活動（応募後～平成30年10月23日までに実施するもの）で、ユニークさと創造性にあふれ、高い教育効果が得られる活動に実施支援金を贈呈します。さらに助成団体の活動報告書を審査し、各種賞と副賞（賞金とチキンラーメン）を授与します。

対象：「学校部門」小・中学校または学校より委託・協力によって当該活動を主催する団体

「一般部門」組織としての形態を有した団体で、小中学生が各回10名以上参加する企画

金額：両部門合わせて50団体に10万円の実施支援金+実施後表彰されれば最高副賞100万円

締切：平成30年5月17日（木）消印有効（平成30年7月初旬決定）

電話：072-752-4335

詳細はこちらから→



実施支援金10万円
+入賞で副賞あり

難病児や子どもの健康福祉

for

市民活動
団体

NEW

「ボランティア活動費助成」

（公財）ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

難病児及びその家族を支援する福祉、医療分野におけるボランティア団体へ助成します。0歳～20歳までの子どもの健康や福祉を直接改善するプログラムのうち、多くの子ども達を支援する見込みがあり、目的が明確なプログラムが対象です。

対象：非営利団体（法人格の有無は不問）。※申請書に推薦者記入欄あり

団体の運営費や管理費（給与や交通費含む）は対象外。

金額：総額200万円（過去の実績として1団体20～30万円程度）

締切：平成30年5月25日（金）消印有効（平成30年6月下旬発表）

電話：03-6911-6068

詳細はこちらから→



プログラムの
プロジェクト
直接必要経費

高齢者を対象/中心とした活動に要する用具・機器の購入

for

市民活動
団体

NEW

用具・機器類の
取得資金
※設備は対象外

「第35回老後を豊かにするボランティア活動資金助成」 (みずほ教育福祉財団)

比較的小規模なボランティアグループで、高齢者を主な対象として活動している、もしくは地域環境の改善につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、活動において継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。

対象：2年以上の活動実績があり、登録ボランティアスタッフ数が10人～50人程度の団体で、グループ名義の金融口座を保有している団体。法人格を有する団体や老人クラブ等は不可。

金額：1グループにつき上限10万(120グループ程度予定)

締切：平成30年5月25日(金)必着 (平成30年7月末通知)

電話：03-3596-4532

詳細はこちらから→



地域での継続的自立生活を支えるシステムの展開

for

市民活動団体
+ 住民組織 等

NEW

調査・研修費、
会議費、物品費、
運営費 等

「地域福祉チャレンジ活動助成」 (ニッセイ財団)

地域包括ケアシステムの展開、そして深化につながる「認知症(若年性認知症を含む)の人の地域での生活を支えるチャレンジ活動」「福祉サービスの開発と起業化に向けてのチャレンジ活動(独自財源づくりを含む)」等の4つの指定テーマに該当する活動に助成します。

対象：他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体(活動の運営組織の構成員に申請団体以外のメンバーが参加していること)。※法人格の有無は不問。※第三者の推薦必要

金額：1団体あたり2年間、最大400万円(1年最大200万円) 3～4団体に助成予定

締切：平成30年5月31日(木)当日消印有効 (平成30年9月に決定)

電話：06-6204-4013

詳細はこちらから→



子どもの健全育成のための体験活動、読書活動

for

市民活動
団体

NEW

直接事業経費
(謝金、雑役務費、
旅費等)

「子どもゆめ基金<二次募集>」 (独立行政法人 国立青少年教育振興機構)

子どもの健全な育成を図ることを目的に、自然体験活動や科学体験活動、交流を目的とする活動(異年齢や異世代、地域間)、社会奉仕体験活動、職場体験活動、読書活動(読み聞かせ等)などに対し助成します(平成30年10月～平成31年3月末までの活動が対象)。

対象：社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しないが活動を実施するための体制が整っていると認められる団体(活動実績のない新規団体も可)。

金額：市区町村規模の活動は50万円を標準額(目安)、限度額100万円

応募期間：<郵送>平成30年5月1日～6月5日、<電子申請>平成30年5月1日～6月19日

電話：0120-579-081

詳細はこちらから→



地域課題解決のための自主的な活動

for

市民活動
団体

NEW

直接事業経費

「東北・新潟の活性化応援プログラム」 (東北電力株式会社)

東北6県と新潟県内の各地域で、地域産業の振興(コミュニティビジネス、6次産業化等)や、地域コミュニティの再生・活性化(空き家や廃校の利活用等)、交流人口の拡大(観光拠点づくり事業の展開等)など地域課題解決のための自主的な活動を行っている団体を支援します。

対象：上記活動を2年以上行っており、今後も継続する団体の活動。

金額：選定した7団体(各県1団体)の中で1団体に「特別助成金(100万円)」を、その他の6団体に「助成金(30万円)」を支援。

締切：平成30年5月16日(水)必着 ※7月中旬1次審査発表、決定は11月末

電話：022-799-6061

詳細はこちらから→



いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町4-29 なのはなプラザ4F

電話：0191-26-6400 ファクス：0191-26-6415

せんまやサテライト

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町149

電話：0191-48-3735 ファクス：0191-48-3736